

令和3 年度 （ 生田 高等 ） 学校 年間指導計画

教科・科目	地理歴史・日本史A	学年	2 年	教科書	山川出版社「改訂版 日本史A」
		単位数	2 単位	副教材	帝国書院「図説日本史通覧」

学習目標	我が国の近現代史の展開を諸資料に基づき、地理的条件や世界史との関連づけ、現代の諸課題に着目して考察することで、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
------	--

学習方法	■我が国の近現代の歴史展開について、国際環境や地理的条件などと関連づけながら、世界の中の日本という視点から考察する。 ■図表や現物資料・レプリカ教材、また I C T を使用しながら事実を正確に理解し、多面的・多角的に考察し公正に判断する能力を養う。また近代戦争などを顧みて、地域の関わりも捉えながら戦争のない平和で民主的な国際社会を実現することの重要性を理解する。 ■年表・図表・地域に残された史料、その他の資料を活用しながら、地域の文化遺産、博物館や資料館の調査・見学などにも可能な限り取り組む。国民生活や文化の動向も地域社会と関連づけるとともに、衣食住・風習・信仰などの生活文化についても学ぶ。
------	---

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	a	関心・意欲・態度	日本の歴史の展開、文化・伝統の特色について関心を持ち、歴史的思考力を培って国際社会に主体的に生きることに課題意識を持って追究しているか。
	b	思考・判断・表現	日本の歴史の展開、文化・伝統の特色について、課題を見いだし、世界的な視野に立って多角的に考察して行く。
	c	資料活用 の技能	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色に関する文献、絵画、地図などの諸資料を活用することを通して、世界史的な視野に立って考察する力を付ける。
	d	知識・理解	日本の歴史の展開、文化・伝統の特色に関する、基本的及び発展的な内容・知識を理解して身につけ、政治・経済・社会・文化の諸要素と関連付けて理解する。

学期	内容のまとめ	時数	単元（題材）	学習内容	評価の観点				単元（題材）の評価規 準	評価方法
					a	b	c	d		
1 学期	近世社会の動揺と近代への胎動	8	1, 幕藩体制の動揺と政治改革 2, 新しい経済構造と学問の芽生え 3, 日本を取り巻く世界の変容	☐ 幕府や諸藩の諸改革 ☐ 近代の形成 ☐ 列強のアジア進出	☐	☐	☐	☒	a：課題意識を高め、学習に意欲的に取り組んでいる。 b：課題に対し、多面的・多角的な考察をしている。 c：資料を適切に選択・活用するとともに、その過程や結果を表現している。 d：歴史的な考察方法を理解し、必要な知識を身に付けている。	授業観察 提出課題 定期試験
	開国と明治維新	8	1, 日本の開国 2, 江戸幕府の滅亡 3, 明治維新 4, 富国強兵 5, 明治初期の外交 6, 殖産興業と文明開化	☐ 開国と東アジア情勢 ☐ 尊王攘夷・公武合体から倒幕へ ☐ 中央集権大成の確立 ☐ 秩禄処分と徴兵令 ☐ 近代日本の国境確定過程 ☐ 明治国家の経済近代化政策	☐	☐	☐	☒		
	立憲国家の成立	8	1, 自由民権運動 2, 立憲制の成立 3, 立憲政治の展開 4, 日清・日露戦争 5, 産業革命と社会の変容 6, 明治の文化	☐ 民権運動の展開 ☐ 憲法制定に続く法制度の整備 ☐ 国内政治の動向と藩閥抗争 ☐ 不平等条約の改正 ☐ 資本主義経済の基礎の確立 ☐ 発展に伴う社会問題 ☐ 欧米文化の模倣・導入	☐	☐	☐	☒		
	第一次世界大戦と日本	7	1, 政党政治の展開 2, ワシントン体制 3, 経済・社会の変容 4, 市民文化	☐ 2回の護憲運動 ☐ 第一次世界大戦と新しい世界秩序 ☐ 大戦や真済による日本経済の動揺 ☐ 大衆社会の成立と市民文化の特色	☐	☐	☐	☒		
2 学期	昭和の恐慌と満州事変	7	1, 恐怖の時代 2, 政党内閣期の内政と外交 3, 軍部の台頭	☐ 金融恐慌と昭和恐慌 ☐ 協調外交と政党政治の行き詰まり ☐ 満州事変と中国侵略の本格化 ☐ 軍部の発言権が増大	☐	☐	☐	☒	a：課題意識を高め、学習に意欲的に取り組んでいる。 b：課題に対し、多面的・多角的な考察をしている。 c：資料を適切に選択・活用するとともに、その過程や結果を表現している。 d：歴史的な考察方法を理解し、必要な知識を身に付けてい	授業観察 提出課題 定期試験

	第二次世界大戦と日本	7	1, 日中戦争 2, 重化学工業化と統制経済 3, 第二次世界大戦と太平洋戦争	○日中戦争 ○恐怖脱出と国家統制の強化 ○太平洋戦争	○	○	○	◎	る。	
	占領下の日本	7	1, 占領と改革 2, 冷戦と講和	○占領政策と戦後の民主化政策 ○日本国憲法制定の意義 ○占領終結と日本の独立 ○占領終結後の日米関係	○	○	○	◎		
	経済繁栄と保守長期政権	11	1, 55年体制 2, 高度経済成長期の経済と社会	○55年体制の成立 ○冷戦構造の雪どけと独立回復後の日本の動向 ○高度経済成長 ○経済成長と社会問題	○	○	○	◎	a : 課題意識を高め、学習に意欲的に取り組んでいる。 b : 課題に対し、多面的・多角的な考察をしている。 c : 資料を適切に選択・活用するとともに、その過程や結果を表現している。 d : 歴史的な考察方法を理解し、必要な知識を身に付けている。	
3 学期	現代の世界と日本	7	1, 冷戦の終結と日本 2, 日本社会の動揺	○国際情勢の変化と国内の政治対策 ○経済大国として歩み始めた日本 ○冷戦体制の終結と国内の状況 ○産業の発達と諸問題	○	○	○	◎		授業観察 提出課題 定期試験
	合計時数(50分授業)	70								